

第36回(2023年度) 学生奨学論文 募集要項

1. 応募資格

個人でもグループでも応募可能です。

大阪経済大学に在籍する学部生。一人または1グループにつき1論文とします。

※ただし、大阪経大会ホームページや印刷物による公開の許諾を条件とします。科目等履修生は該当しません。

2. 論題

自由論題です。各自で自由に論題を設定してください。

※論文については、先行研究を十分に踏まえて作成してください。

3. 原稿の体裁

分量はおおむね、刷り上りがA4版横書きで、図表・統計資料を含めて10ページ程度とします。

ただし、表紙、要約、目次は原稿枚数に入りません。なお、作成にあたって、表紙は大阪経大会所定の様式を使用してください(6月に大阪経大会ホームページに掲載予定)。

【注意】 以下の体裁を守らない場合は審査の対象外となります。

- (1) 1ページ 40字×40行
- (2) 表紙→要約→目次→本文 の順序で作成
- (3) 表紙、800字程度の要約、目次を作成。表紙は学会所定の様式を使用し、**所属学部や氏名、学籍番号、学年等の著者がわかる情報は一切入れないこと**
- (4) 本文にはページ数を表示する
- (5) 論文執筆に利用・引用した文献および資料はすべて、脚注や参考文献として表示すること
※記載がない場合、盗用とみなされることがあります。
- (6) 論文内(データ等含む)に**謝辞や指導教員等がわかる情報は一切入れないこと**
- (7) グループ研究の成果で個人が応募する場合、関係者の承諾を得ること(承諾書の提出義務)
- (8) 応募は未発表の論文であること
- (9) 過去の論文を発展させ、過去の論文の結論をより確かなものとできるのであれば、未発表の論文として応募できる(本文初めに「本論文は、20xx年度学生奨学論文に応募した原稿を基に作成したものである」などの記載を入れる)
- (10) 共同論文の場合は、全体の構成をよく考え、各章で同じ内容になっていないかなど、確認すること
- (11) 誤字・脱字がないか必ずチェックをすること

4. 提出について

※不備がある場合は、審査の対象外とします。

提出期間: 2023年9月11日(月)～9月22日(金)

※厳守(上記期間を過ぎての提出は認めません)

提出先: 大阪経大会事務局 ※電子メールによる提出とします。

下記の提出物①～③をメールに添付して、大学のメールアドレスより大阪経大会へ送信してください。

大阪経大会メールアドレス: gakkai@osaka-ue.ac.jp

提出物: ①学生奨学論文申込票(1枚) ※ダウンロードしたファイルに必要な事項を入力して提出

②論文原稿 ※表紙は、大阪経大会所定の様式を使用すること

※論文のファイル形式はPDFとし、パスワード等のセキュリティは設定しないこと

③関係者の承諾書 ※原稿の体裁(7)に該当する論文のみ

※学生奨学論文申込票、表紙(学会所定の様式)は、6月に大阪経大会ホームページに掲載予定

5. 審査

本学専任教員で構成する審査委員会が行います。

6. 結果発表

2023年12月に受賞発表・表彰式を開催します。

7. 表彰と副賞

■参加賞 図書カード5千円分

※個人応募の場合は応募者本人に、グループ応募の場合はグループに図書カード5千円分を贈呈します。

※ただし、審査委員会において審査対象外と判断された論文については、参加賞の贈呈はしません。

※図書カードは大阪経済大学後援会の協賛により贈呈します。

■12月に受賞発表・表彰式を開催し、入賞者へは賞状および副賞を授与します。 各賞と副賞は以下のとおり。

〔特 選〕 副賞 奨学金20万円 および 図書カード5万円分

〔入 選〕 副賞 奨学金10万円 および 図書カード3万円分

〔佳 作〕 副賞 奨学金5万円 および 図書カード1万円分

〔努力賞〕 副賞 奨学金2万円 および 図書カード5千円分

※奨学金は大阪経大会、図書カードは大樟会（同総会）の協賛により授与します。



8. 入賞論文の公表

入賞論文については、「大阪経大会通信」に概要を掲載するとともに、全文を複写・製本して、図書館で閲覧できるようにします。また、入賞論文については、学会ホームページにも公開します。

入賞論文の著作権については、大阪経大会に帰属します。

9. 昨年の入賞状況 ※学会ホームページおよび図書館にて閲覧可能です。

〔特 選〕 該当なし

〔入 選〕 該当なし

〔佳 作〕 2本

〔努力賞〕 2本

10. お問い合わせ

大阪経大会事務局（J館3階 研究支援課）

TEL 06-6328-2431（代）、FAX 06-6370-7847

E-mail : gakkai@osaka-ue.ac.jp

大阪経大会ホームページ <https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/>

論文を書くには

1. レポートとの違いを理解しよう

□ 自分なりのテーマを設定する

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第2章 p.28「3. 卒業論文のポイント」参照

<https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

□ 引用文献を必ず書くこと

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第5章 p.69「文献・資料の引用」参照

<https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

2. 応募することに意義がある

□ 学生時代のよい経験になるし、就職活動のPRにもなる。

3. 審査のポイントを押さえよう

□ 形式 **形式はとっても大切**

- ・ 原稿の体裁は、様式どおりか 【注意】(I)～(II)を必ずチェックしてください
- ・ 文献引用は適切か
- ・ “注”の付け方は正しいか

□ 内容 **調査やフィールドワークはポイントが高い**

- ・ 表現力・分析力・構成力はあるか
- ・ 主張が明確か、オリジナリティはあるか
- ・ 説得力があるか(結論まで整合性がとれているか)

共同論文の場合は、テーマの方向性を合わせ、論文構成に十分注意すること

4. スケジュールを立てよう

6月 ・テーマ設定

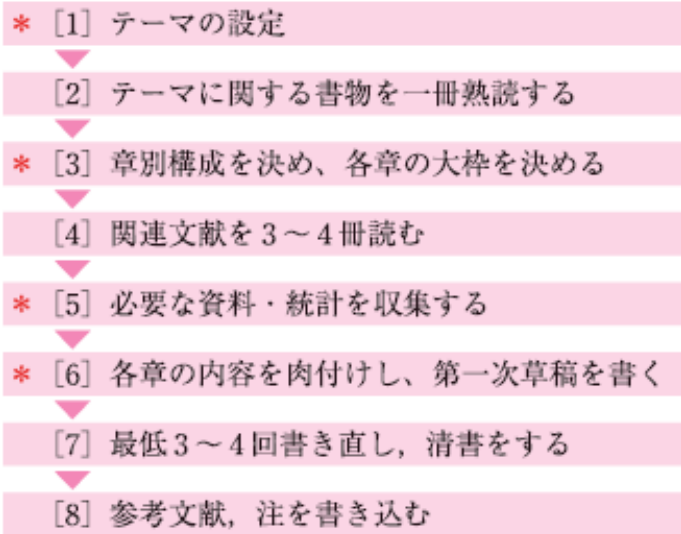
7月～8月 ・資料収集 ・下書き ・推敲

9月11日～22日 ・提出

5. 論文執筆のプロセス

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」第2章 p.30参照

<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>



(＊は特に重要なプロセス)



6. 論文執筆の手がかりとなる文献・資料

・手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」

<http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/>

・本学図書館では、書籍・雑誌を豊富に取り揃えています。専門分野の書籍はもちろんのこと、論文の書き方について書かれた書籍も多数あります。文献や資料を収集の際に、ぜひ利用してください。

7. 最後に

学生奨学論文は、書くと必ず自分の力になります。途中であきらめたくなることがあるかもしれませんが、頑張って最後まで仕上げましょう。

わからないことがあれば、気軽に質問してください。皆さんの応募をお待ちしています。

協賛：大阪経済大学大樟会（同窓会） 協力：大阪経済大学図書館
大阪経済大学後援会

大阪経大会事務局 gakkai@osaka-ue.ac.jp